

STEP 3 みんなの意見をまとめよう!

- 最後に、グループで話し合った内容をそれぞれ発表し、市民検討会全体の意見としてとりまとめました。
- 話し合った結果について、景観アドバイザーの石川先生から講評していただきました。



石川 初 先生
(慶應義塾大学大学院 教授)

調布市景観アドバイザーからのアドバイス



- ・市民検討会を通して、委員のみなさんの景観に対する意識が高まっていることを感じています。
- ・「調布らしさ」というと難しいが、「深大寺らしさ」「仙川らしさ」といったそれぞれの地域や、川や街道など地域を横断する要素に着目していくのもよい方法です。

調布連続学習会「まち談」のご案内

- 持続可能なまちづくりや地域のデザインなど、景観まちづくりの第一線で活躍する専門家を招き、調布の景観を考える連続学習会を開催します。
- 学習会は、平成28年度にかけて全5回を予定しており、講演やまちあるき、ワークショップなどを行います。

開催概要 第1回「地域を育む人たちの話、建築が参加する地域の景観づくり」

日時 平成28年2月6日(土) 午後2時15分～午後4時15分
場所 文化会館たづくり 10階1001学習室
定員 30名 (応募者多数の場合は抽選いたします)
費用 一般700円・学生350円
(全5回分を初回一括払いの場合：一般3,000円・学生1,500円)



講師紹介 坂東 幸輔 氏 (京都市立芸術大学講師・一級建築士)
1979年徳島県生まれ。2002年東京藝術大学美術学部建築学科卒業。2008年ハーバード大学大学院デザインスクール修了。2010年から坂東幸輔建築設計事務所主宰、BUS主宰。

問合せ 主催 NPO法人調布まちづくりの会 担当：鉄矢 tetsu@u-gakugei.ac.jp
共催 調布市

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

平成28年1月22日発行

第28号

調布市制施行60周年



第3回調布市景観まちづくり 市民検討会を開催しました!

- 調布市では、「調布市景観まちづくり市民検討会」を設置し、市民委員による地域特性を活かした魅力的な景観まちづくりについて意見交換しています。
- 本号では、平成27年12月17日(木)に開催した「第3回調布市景観まちづくり市民検討会」についてご紹介します。

第3回調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました

開催テーマ 「屋外広告物のあり方をまとめよう！」

- 平成27年12月17日（木）に開催した第3回市民検討会についてご紹介します。
- 今回は、これまでの検討会の内容をもとに作成した「調布市民景観まちづくりビジョン（屋外広告物編）（素案）」について意見交換し、調布市の屋外広告物の景観づくりの方向性を話し合いました。



STEP1 これまでの意見をおさらいしよう！

- 今年度の市民検討会では、屋外広告物をテーマに、景観について意見交換しました。
- 第3回検討会の冒頭に、これまでの検討会の内容について振り返りを行いました。

第1回検討会 景観の視点から屋外広告物を考えよう

○景観と屋外広告物の基礎知識を学んだ後、広告物の写真を見て感じたことを話し合ってもらいました



写真撮影 市内の屋外広告物を見てみよう

○委員のみなさんに、市内の気になる屋外広告物の写真を撮影してもらいました



第2回検討会 市内の屋外広告物について考えよう

○撮影してもらった市内の屋外広告物の写真をもとに、気づいたことを話し合ってもらいました



※詳細は「ちょうふ景観だより」第26号・第27号をご覧ください。

STEP2 屋外広告物のあり方を考えよう！

- これまでの検討会を振り返り、調布の魅力的な景観づくりに必要な屋外広告物のあり方について「調布市民景観まちづくりビジョン」としてとりまとめるため、グループごとに意見交換しました。
- ビジョンのとりまとめにあたっては、「共通編」「地域編」「要素編」に分け、それぞれの内容について話し合いました。

共通編 広告物が担う役割全般に関すること

街並みへの貢献



- ユニーク、洗練されたデザインはよい
- センスの良い広告物を表彰するのもよい
- テナントに良い広告物を出してもらえよう、建物所有者の意識を高めることも必要

にぎわい調布らしさ



- 個性やまとまりのある広告物は、街並みに活気を与える
- 季節感のある期間限定の広告物を出すのもよい
- 調布をアピールするようなデザインの工夫があるとよいが、「調布らしさ」の共通認識が難しい

地域編 それぞれの地域の広告物に関すること

駅前商店街



- 市の顔であることを意識し、駅前にふさわしい品格のある広告物にするべき
- 商店街ごとに個性や特徴を出すもよい
- それぞれの商店街で工夫していれば、規制しすぎなくてもよい

深大寺住宅地



- 自然や和の雰囲気と調和した広告物がよい
- 深大寺には、観光地としての活気もあるとよい
- 住宅地では広告を控えるか、暮らしに溶け込むようにしてほしい

要素編 広告物の大きさや色などに関すること

色彩



- 周囲の街並みにそぐわない、けばけばしい色は控えるべき
- デザインに工夫があれば、鮮やかな色でも印象がよい
- 調布市のイメージに合う色を取り入れるのもよい